



「こがっち」は100号になりました！



大きくなったらどんな大人になりたいですか？

将来の夢はありますか？

みなさんが大人になるまでの今の期間は、これからの長い人生にとってとても大切な時です。

興味を持ったことや、やってみたいと思ったことに、どんどんチャレンジしてください。

そして、自分が好きだと思えることを見つけてください。

挑戦することの楽しさや多くの人とのかかわり、そういった体験が大人のあなたを形づくるものになります。

みなさんの人生を、応援しています。



古賀市教育委員会
教育長 長谷川清孝



タイムリーフ(時間跳躍)

こがっち第1号が発行された23年前(1999年)へジャンプ!

(主な出来事)

- ☆欧州に新通貨ユーロが誕生(2002年1月より流通が開始された)
- ☆「だんご3兄弟」がCDシングル歴代新記録となる約290万枚の大ヒット



だんご〜♪

だんご〜♪



(流行語)

- ☆2000年問題 = 2000年になるとコンピューターシステムが大混乱すると言われていた

(ヒット商品)

- ☆犬型ロボットアイボ(ソニー)



知っていることは
あったかな？

(ヒット食品)

- ☆チョコエッグ(フルタ製菓)



(テレビアニメ)

- ☆『ONE PIECE』が放送開始



子どもアート教室

古賀市に住んでいる小中学生なら誰でも参加できます！

アート教室で紹介した作品の作り方を、市のホームページや教育委員会フェイスブックでも紹介しています！お家でも挑戦してみてくださいね！

予告

- ★時間：10時～12時（9時45分受付）
- ★参加するには申し込みが必要です。

マスク、ハンカチ、水筒は必ずもってきてね



ミニパラシュート！

～飛んでけ！空飛ぶおもちゃ～

- いつ** 6月11日(土)
- どこ** リーパスプラザこが交流館 102 工芸室
- いるもの** 汚れてもよい服装
- ほしゅら** 16人程度

6月申込

QRコードから申し込みしてください



作って遊ぼう①

～カーリングに挑戦しよう！～

- いつ** 7月9日(土)
- どこ** リーパスプラザこが交流館 多目的ホール
- いるもの** 動きやすい服装
- ほしゅら** 16人程度

7月申込

QRコードから申し込みしてください



※新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況により、中止になる場合があります。

【問合せ先】古賀市教育委員会 青少年育成課 電話 942-1172

青少年支援センター

ひとりで悩んでいませんか？

そんな時は、古賀市青少年支援センターの相談員と話してみませんか？

電話や面談、メールなどで相談ができます



古賀市青少年支援センター

電話 943-2615 (月～金 8:30～17:00)

Eメール soudan@city.koga.fukuoka.jp

青少年支援センターで相談できない時間での相談は【24時間子どもSOSダイヤル：0120-0-78310】

(なやみ言おう)



<移転のお知らせ>

市役所第2庁舎2階へ移転します

5月20日(金)まで リーパスプラザ

5月23日(月)から 市役所第2庁舎2階

先輩の話を聞こう！



くろ きしゅんすけ

黒木俊介さん(39歳)に聞きました！

(古賀市地域おこし協力隊・古賀市商工政策課)

Q：地域おこし協力隊とはどんなお仕事ですか？

A：観光を目的として古賀市に人を呼び込むために、地域の魅力を発信する仕事です。

Q：なぜこの仕事に就かれたのですか？

A：前職は海外で映像制作コーディネーターをしていました。簡単に言うと、日本の企業が映画やTV番組の撮影で求める場所を探して紹介する仕事です。海外での生活が5年を過ぎたころ、ふと日本に帰りたい、地元に戻りたいという気持ちになり、地元の熊本に戻りました。そして、自分が今までやってきた仕事は、観光ガイドに近いものでしたので、このスキルを九州で活かせないかと、まずは地元を知ることから始めました。そして、九州各地を巡り、その土地土地ならではの良さに触れる中で、地域おこし協力隊を募集している自治体があることを知りました。やるなら、全く知らない街で一からやってみたい！！と思い、古賀市で地域おこし協力隊になりました。

Q：この仕事に就かれてみた感想を教えてください。

A：古賀市へやってきて、沢山の方々と会って話をしてきました。話をすることで、その方のストーリーが知れます。これは対話がないと感じ取れないことです。想像するだけでなく、実際に行って、聞いて、対話する事が大切だとあらためて思いました。

先輩からの一言

「偶然は備えなき者を救わない」というルイ・パスツールの言葉があります。偶然訪れたチャンスを逃さないためには、自分自身がそれに見合った心構えや実力を備えていることが大切です。いつの日にか訪れるチャンスのために、行動や意識を大切に一日一日を過ごしてほしいです！



みやげんき

三宅元氣(22歳)さんに聞きました！

(若者のボランティアグループ「ワペル」)

ワペルとは、高校生以上で構成されたボランティアグループです。ワペルに関するお問い合わせは青少年育成課まで！

Q：ボランティアグループ「ワペル」に入ったきっかけは？

A：「子どもアート教室」のボランティアとなり、その活動を通して、古賀市では他にも小中学生に向けた体験活動を実施していて、「ワペル」が自分たちで体験活動を企画実施していることを知りました。楽しそう！自分もやってみたい！と思った事がきっかけです。

Q：「ワペル」での活動は三宅さんにとってどのような影響がありましたか？

A：僕の将来の夢は教育普及活動を担当する学芸員になる事です。教育普及活動とは、美術に親しんでもらうことを目的に、美術館や博物館で講演会やワークショップ(参加者体験講座)を行う活動の事です。そのためにも、子どもたちとふれあう機会をたくさん持ちたかったので、「子どもアート教室」や「ワペル」の活動は、自分にとって大変プラスになりました。他の大学の人や社会人の方と知り合えたのも良かったです。

Q：三宅さんは夢を実現するために、どのような進路を選んできたのですか？

A：僕は歴史が好きで、高校2年生のころ、それを活かす職業に就きたいと思い始め、自分でいろいろ調べてみたところ、博物館の学芸員の仕事を知りました。高校3年生の時、九州国立博物館でボランティアとなり、子どもたちに向けたワークショップの企画を始めました。その経験から教育普及活動を行う学芸員になりたいという気持ちになりました。大学は日本の文化をもっと知るために、九州産業大学国際文化学部日本文化学科へ進み、今年の4月からは、成城大学大学院でさらに深く日本文化について学んでいます。

先輩からの一言

ボランティアって気軽に始めやすく、いろんな年代の人と関わることができます。多くの人との関りが、自分の将来につながることもありますよ！

シリーズ ① 「優しい街」ってどんなまち？

～吹き出しに言葉を入れてみよう～

#自分のしあわせ #みんなの幸せ
#私たちにできること

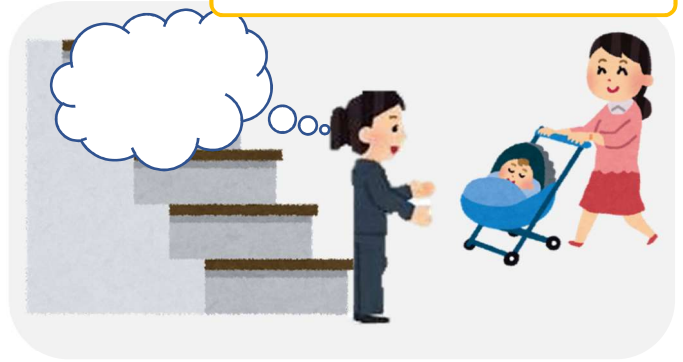
点字ブロックの上に自転車が...



一人ひとりが、「お互いを理解し思いやる気持ち」を持つことで、どんなときも（災害がおきても）みんなに優しいまちになります。あなたなら何と声を掛けますか？
みんなも気づいたこと、できることから始めてみましょう！！

【問合せ先】 古賀市社会福祉協議会 944-2941

階段しかない...

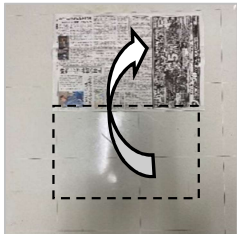


席をゆずるときは...

もしもの備え！【新聞スリッパ】

限られた物で災害時に役立つ技術を身につけよう！

①



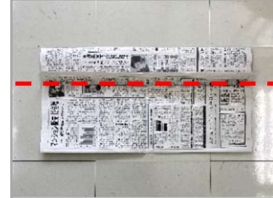
新聞紙 1 枚を折筋に沿って半分に折る

②



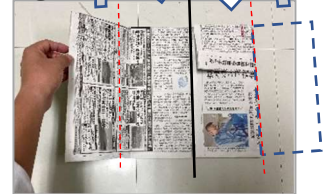
かかとに輪がくるように足を置き、つま先側を足の大きさに合わせて折る

③



折った方を 2cm くらい折り返す

④



③を裏返して半分に折り、中央に折り目をつけ、もういちど広げて両側から中央に向かって折る

⑤



袋状になっている部分に片側を折りこむ

⑥

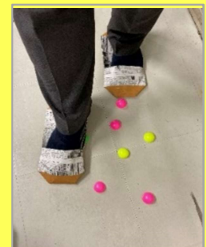


点線部を折る

⑦



完成！！



ガムテープで裏側を補強すると、丈夫になるよ！

【資料提供】 福岡教育事務所

発行：古賀市教育委員会青少年育成課

〒811-3192

古賀市駅東 1-1-1 古賀市役所第二庁舎4階

TEL(092)942-1172 ・ FAX(092)944-5974 ・ Eメール seisyonen@city.koga.fukuoka.jp ・ 発行日 令和 4 年 5 月 2 日